

大学生と農山漁村との連携事例



和歌山大学

実施主体名： 地域交流援農サークル
agrico.(アグリコ)

担当窓口

和歌山大学地域交流援農サークルagrico.

URL

<https://agricostudent831.wixsite.com/agrico>



活動内容

農繁期の労働力不足が課題となっている農家への援農活動のほか、地域で開催される行事等に参加し、地域との交流活動にも取り組む。和歌山県は果樹農家が多いことから、主な援農活動は、桃の袋掛け、梅・みかん等の収穫、出荷作業を中心に、野菜の収穫や棚田保全等の活動も行っている。また、令和5年度は「梅収穫スタディケーション」に着手したJA紀南と連携し、梅産地が抱える課題解決に向けた取組に参加するなど、活動は他団体等と連携した取組に発展している。



きっかけ

援農ボランティアのゼミ活動をきっかけとして、平成20年にサークル（和歌山大学公認）を設立。若い世代に農業に携わるきっかけを作り、学生と地域を繋ぐ架け橋となることを目標に課外活動を開始。



展 望

現在は、提携している農家での活動が基本であるが、コロナ禍で疎遠となっていた地域との交流を密にしていきたい。また、援農活動とあわせて農業を取り巻く環境や、フルーツ王国和歌山県の魅力、そして当サークルの活動内容をさまざまなメディアを通じて発信していきたい。



桃の袋掛け（紀の川市）



田植え（紀美野町「中田の棚田」）



梅の収穫（田辺市）



JA等との意見交流会（田辺市）